



6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 センター開設による直接受診、かかりつけ医からの紹介受診の増加

指標	指標名	センター受診予約数							指標の種類
	指標式	1件×センター開設日							成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
	目標a			120	240	240	240	240	
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国	実績報告書							

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 05月 翌々年度 月

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
	目標a								
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国								

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
 指標を設定することが出来ない理由  
 \_\_\_\_\_  
 見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)  
 \_\_\_\_\_

事業の必要性

**現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性**  
 認知症が疑われた段階でかかりつけ医が患者をセンターに紹介し、かかりつけ医や地域包括支援センターに診断結果やサービス利用の意向等が提供される体制が構築されることがとなり、センター、かかりつけ医、地域包括支援センターが情報を共有することにより、地域における認知症医療と各種サービス提供体制の強化が図られる。

**住民ニーズに照らした事業の必要性**  
 誰も住み慣れた地域で生活することは自然な望みであり、認知症を早期に発見・治療する適切な認知症医療の体制整備、希望する各種サービスが早期に利用できる体制を整備することは必要である。

**事業の県関与の必要性**  
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの  
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの  
 認知症患者医療センターは、県が指定することとされている。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
	重点事業 其他